

主体的に学習に取り組む態度を評価する単元構想（商業科「簿記」）
 単元名： 1年生 第25章 第1節 「決算整理のまとめ」（全3時間）

単元の目標（育成を目指す資質・能力）
(1) 決算整理の方法について考察や討論を行う学習活動を通して、適正な財務諸表を作成することの重要性を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
(2) 決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案する。
(3) 決算について自ら学び、適正な決算整理の作成に主体的かつ協働的に取り組む。

単元の評価規準
知識・技術 ・決算整理の方法について考察や討論を行う学習活動を通して、適正な財務諸表を作成することの重要性を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
思考力・判断力・表現力 ・決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。
主体的に学習に取り組む態度 ・決算について自ら学び、適正な決算整理の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

既習内容	生徒の実態と抱える課題
(1年1学期) ・6桁精算表 ・売上原価の算定 ・貸倒れの見積り ・減価償却 ・売買目的の有価証券の評価 ・現金過不足の処理 (1年2学期) ・収益と費用の繰延べ・見越し	(実態) 精算表や決算整理事項について基礎的な知識があるが、それぞれの項目に対して学習した内容をパターンとして覚えている生徒が多く、意味を深く理解していない。 (課題) 決算について理論と実務とを関連付けて理解し、それぞれの決算整理事項を暗記ではなく決算に必要な一連の処理として捉えることができる力を身に付けさせたい。

主体的に学習に取り組む態度を評価する単元構想（研究仮説と手だて）
<p>本単元では、決算の方法の妥当性と実務における課題について考え、表現することが重要である。決算整理の必要性について考察することによって、決算整理事項を暗記ではなく決算に必要な一連の処理として捉えることが大切であることに気付かせることで、決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、他者と協働し課題に対応することができるようになって考えた。それらを、グループワークやワークシートにて評価し、生徒に還元することによって、適正な財務諸表を作成することの重要性を理解することができるようになって考えている。</p> <p>また、決算について自ら学び、適正な決算整理について主体的かつ協働的に取り組もうとする姿勢について、ワークシートによる振り返りをさせることで、学びを確かなものにさせたい。既習内容を生かし、個人及びグループで決算について深く考えさせることで、個人の理解度を認識させることや他者と協働し課題に対応することの重要性などに気付かせていきたい。</p> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、個人での学習方法を工夫することで、自ら決算の方法の妥当性と実務における課題を見出すことができるよう工夫する（第1時）。 ・ワークシートのリフレクション欄を充実させることによって、決算整理事項の意味を深く理解し、他者に説明ができるようになったことや、決算整理事項を暗記ではなく決算に必要な一連の処理として捉えることができたことを自分の言葉でまとめながら振り返らせる（第1時、第2時、第3時）。 <p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算整理事項の理解を深めるために、ペアの生徒に説明を行う活動を設定する（第2時）。 ・決算整理の意義や重要性に気付かせるために、グループワークを通して自分の考えを説明させる（第3時）。 <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実在する企業の財務諸表を参考資料として使用するなど、教材を工夫することにより実際のビジネスで学習内容が活用されていることに着目させ、学びに向かう力を育成する観点から、これまで学習してきた決算整理事項とその重要性を考察する活動を設定する（第1時、第3時）。

単元評価計画						
時数	小単元の目標	評価方法	学習活動	主体的に学習に取り組む態度を評価する工夫	評価における工夫(評価の還元)	割合
1	・決算整理の必要性について理解する。	①ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・6桁精算表と8桁精算表の違いについて理解する。 ・決算整理の必要性についてタブレット端末を活用し、調べた内容をワークシートにまとめる。 ・実在する企業の財務諸表を提示し、実際のビジネスで学習内容が活用されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦調べた内容を自分の言葉でワークシートにまとめさせる。 ㊧授業の内容を自分の言葉でワークシートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのリフレクション欄を充実させる。(単元末) ・ワークシートのリフレクション欄を充実させる。(単元末) 	<ul style="list-style-type: none"> ①15 ①5
2	・決算整理事項について理解を深め、精算表の作成方法を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ①小テスト ②ループリック(ペアワーク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの決算整理事項が理解できているかセルフチェックを行う。 ・決算整理事項の理解を深めるために、ペアの生徒に説明を行う。 ・ペアの生徒と協働し、例題の決算整理仕訳を行い、精算表を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦小テストによるセルフチェックで、個人の理解度を認識させる。 ㊧ペアの生徒と相互に説明する際に、知識及び技術を獲得することに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面を評価するため、ワークシートに自己評価欄と生徒間評価欄を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのリフレクション欄を充実させる。(単元末) ・行動観察結果をループリックにより評価し、フィードバックする。(単元末) 	<ul style="list-style-type: none"> ①10 ②10
3	・決算整理の重要性を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ①グループワーク ②ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・2社を例に挙げ、その企業の決算整理と精算表の作成を通して、決算整理の重要性や課題を考察し、自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊧㊦第1時に個人でまとめたワークシートを活用させながら、決算整理の重要性や例題の企業の経営成績及び財政状態についてグループで考察し、まとめさせる。 ㊦決算整理事項を決算に必要な一連の処理として捉えることができたことを自分の言葉でまとめ振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察結果をループリックにより評価し、フィードバックする。(単元末) ・単元全体のリフレクションについてまとめさせる。(単元末、次時返却) 	<ul style="list-style-type: none"> ①15 ②5
		①定期考査				①40